1. **開会**

2. **会長挨拶**

先日、島根県立大学で開催された「浜田の未来をみんなと語る日」に参加した。若い皆さんも浜田へのしっかりとした思いを持っておられる。浜田の未来を私たち一人一人が大切にしながら次の世代につないでいきたいと思う。この地域協議会としても、住んでいて良かったと思える浜田をつくっていきたい。

3. **副市長挨拶**

4 月に就任し、半年が過ぎた。最近は、山陰中央新報に浜田市のニュースが多く載るようになった。「駅前のグランドデザイン」や「リハビリテーションカレッジへの支援」、「株式会社三陽の進出」等。あまり良くないことであれば、パワハラの件等。三浦システム（三浦市長）がスピードを上げて様々なことに取り組んでいることを地元紙にしっかり取り上げてもらえていると考える。

この地域協議会での委員の皆様方からのご意見は事業を進めていく上でのヒントになる。是非、遠慮ないご意見をいただきたい。

4. **報告事項**

⑴ 第 3 次浜田市総合振興計画素案①について

（政策企画課長）

＜資料 1 に基づき説明＞

（宮木委員）

3 頁の タイトル「地域力が開く」というのは、表現がわかりにくい。「花開くまち」等にしてはどうか。4 頁の幸福を感じる 4 つの要素の 1 つめは、若い世代向けの問いではないか。アンケートを取った際、浜田の人口構成を考えると、結果が落ちるのではないか。43 頁の合計特殊出生率目標 2.07 の数値は何かを参考にしているのか。

（政策企画課長）

3 頁のタイトルについては、再考する予定。4 頁の幸福度は学術的な指標を参考にしている。高齢者の方でも、これからの人生の中で挑戦していけるようにということも図れればと思う。

（副市長）

4 頁のアンケートについては、全体的に世代は満遍なく取る形になる。学術的にも比較論も確立できている。

（政策企画課長）

43 頁の合計特殊出生率目標値は、島根県の総合戦略の数値に追随する形で設定している。

（長谷川委員）

9 頁. 10 頁内で使用している色が多すぎるので、もう少し減らすと見やすいのでは。

（政策企画課長）

まだ、完成形ではないので、製本をしていくまでのところで検討していきたい。

（佐古委員）
　島根県立大学のことが書かれていないが記載した方が良いのではないか。また、大学と地域の連携についての相談先がわかりにくい。

（政策企画課長）
　17 頁に高等教育機関と地域が互いの強みを生かし、地域の活力創出につなげるという表現にとどめている。当課が大学との連携を担当しているため、県立大学との連携も進めていきたいと考えている。何かあれば政策企画課へご相談いただきたい。

（副市長）
　島根県立大学は浜田市にとって宝である。来年度以降、更なる連携を検討している。市内の子どもが県立大学に進学され、のちに市内で就職していただくルートをつくりあげていきたい。県立大学についての表記は、検討していきたい。

（三浦委員）
　私は「貿易」「魚」等の活力ある浜田をイメージする。幸福度というのも大切だとは思うが、活力ある浜田という点は失わずに、しっかり取り入れていただきたい。

（政策企画課長）
　市長も一次産業を元気にするというのは、重要な目標として捉えている。基本目標で水産業振興も含まれている。

（副市長）
　幸福度を目標に掲げているからと言って、産業振興やインフラ整備を疎かにするわけではない。12 月議会では浜田漁港のグランドデザインについても検討していく。これまで以上に産業振興には力を入れていく。そこを市民の幸せに紐づけていけたらと思う。

（佐古委員）
　37 頁の高齢者福祉の充実「要介護認定率の抑制」というのは、要介護認定を市が意識的に抑制していくと捉えられかねない。

（政策企画課長）
　表現については、いただいたご意見をもとに見直しながらまとめていきたい。

⑵ 浜田駅周辺グランドデザイン（素案）について
（浜田駅周辺活性化推進室長）
＜資料 2 に基づき説明＞

（村井委員）
　素案には若者が集う場所、広場が見えない。スケートボードなど広島に場所を求める若者がいるので、そういったゾーンを検討いただきたい。

（浜田駅周辺活性化推進室長）
　市長協議の中でもスケートボードやストリートバスケットの話があった。スペースが取れれば可能だと考えるので調整していきたい。

（副市長）
　市長の政治の進め方というのは、目先のことを解決していくよいうよりは、10 年先の絵を見せて、そこに向けて一歩ずつ進めていくやり方である。スケボーは空きスペースがあれば、いつでもできるので、短期的な仕掛けとして、港の方を整備する等、検討していきたい。

（宮木委員）
　現在の浜田川は歩きたくなる川になっていないと思う。「川沿いウォーキングの幸福度を高める魅力」という記載を見た。水がとても綺麗な川であれば、見るだけで癒される感じがする。浜田川は、どこまでお金をかけて整備していくのか。

（浜田駅周辺活性化推進室長）
　三ツ桜酒造跡地から図書館の間は、歩道部分を管理し、河川管理者である島根県とも連携し、整備していく。そして、その範囲を少しずつ広げていきたい。

（宮木委員）
　浜田市まちづくり総合交付金課題解決特別事業を活用するのも良いかもしれない。ブックカフェがこの場所で、商業的に成り立つのか。駅に近い方が良いのではないか。50 人規模くらいで、カフェと神楽が融合されたカフェが 1 つあれば良いのではないか。また、図書館にカフェを設置すれば、学生にも喜ばれるのではないか。

（三浦委員）
　資料館の建て替えは、まだこれからか。あの場所が更地になれば、宮木委員の案もイメージが湧いてくるが、まだ跡地の活用については決まってないのか。

（副市長）
　資料館については、浜田世界こども美術館の横につくるという案もあるが、現時点では未定。12 月議会で市長から表明し、3 月には概ね場所や規模について決定していく。

⑶ 浜田橋の撤去工事および今後のスケジュールについて
（建設整備課長）
＜資料 3 に基づき説明＞

⑷ 浜田市情報化推進協議会委員の推薦について
（まちづくり社会教育課まちづくり推進係長）
＜資料 4 に基づき説明後、新委員について了承された。＞
・長谷川　真美　委員

5. その他

⑴ 市民憲章推進大会について

（三浦委員）
　出席者が少なかったように思う。講演者の言葉が聞き取りづらかった。運営側には、マイクの調整等してほしかった。表彰をしてほしいグループがあるが、どこに推薦すれば良

いのか。

（まちづくり社会教育課長）
　市民憲章推進協議会の構成団体の会員に推薦者がいないか毎年照会している。当課にご連絡いただければ、関係と思われる団体に紹介させていただく。

（宮木委員）
　畳ヶ浦の付近で飲食等のサービスを提供できるようにならないか。「民宿しまや」で飲み物の提供はしている。

（副市長）
　新しいお土産屋をつくるのは、難しいかもしれないが、商品開発をして、「しまや」に置かせてもらうというのはできると思う。また「しまや」についても知ってもらえるよう周知するのも良いと思う。観光サイドと何ができるか協議していきたい。

（後藤委員）
　畳ヶ浦はゴミが多い。ゴミは基本的には、どこの管轄になるのか。また、清掃の頻度はどのくらいか。

（地域政策部長）
　文化財ということで、文化の部署、観光の部署の両方で予算をもち、漂着物を清掃している。大きなイベントがあれば、事前に清掃しているが、追い付いていないというのが現状である。

（副市長）
　防災無線の朝の「浜千鳥」はどのように感じるか、委員の皆様にご意見を伺いたい。夕方の「カチューシャ」と「浜千鳥」を交換してみてはという意見もある。変更した場合に、問題はありそうか。

（三浦委員）
　浜千鳥の会の方に選んだいわれを聞いてみた方が良いと思う。